

杳蔵山 (1026m)

M・T

期 日：9月30日(水) 快晴

コース：山屋登山口6：28→杳蔵山10：04→山屋登山口12：07

参加者：M・T(単独)

報 告：



前日、林道の状況をSクラスの車で通行出来ると確認し安心して登山口に向かった。

登山道は三の滝の先二俣迄、戸前川沿いに付けられている。



10分弱歩くと溪谷遊歩道との分岐に着く。登山道を行く。



霜柱の花と思われるが？
群生していた。



まだまだ、里山雰囲気杉林の中を行くと
地元の方が、腰に籠を下げてキノコを採っていた。
秋だ！



一の滝へは、標識の右手を少し下りて行ったが、滑りやすい道だった。

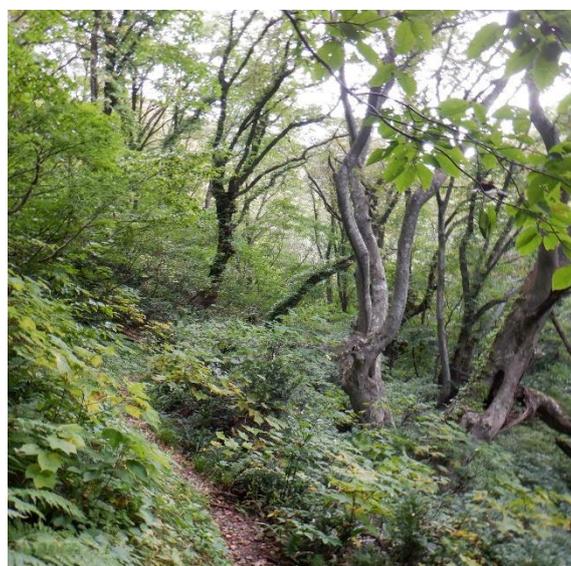
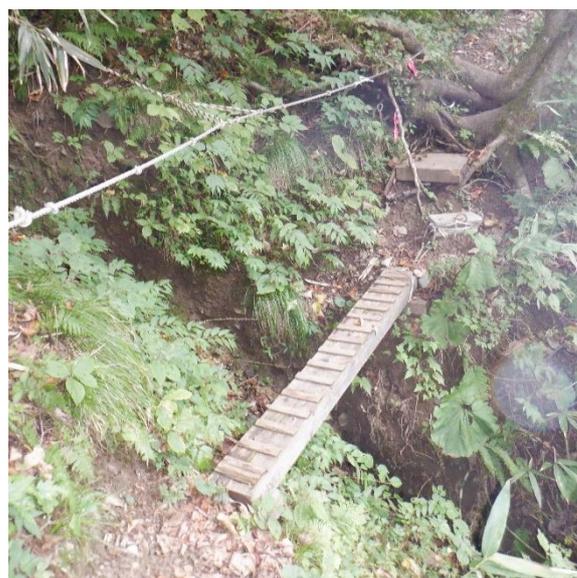
一の滝



不動明王碑



細い栈道のロープが有りがたい。



この辺りから林相が変わり、ブナの自然林となる。

ミズの実



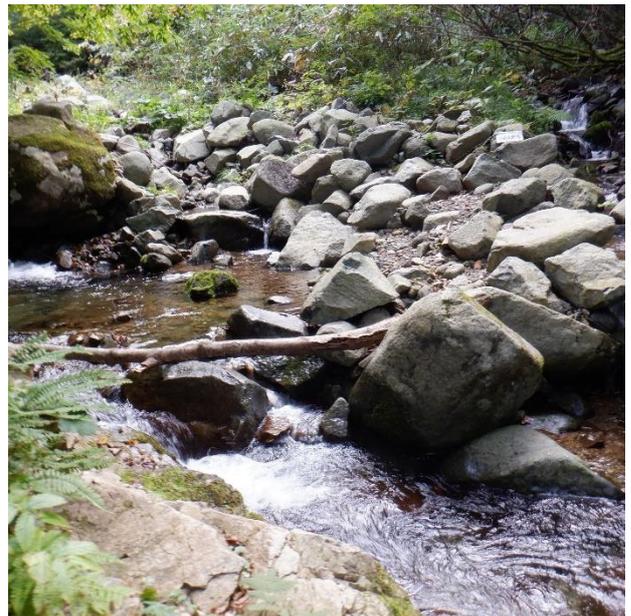
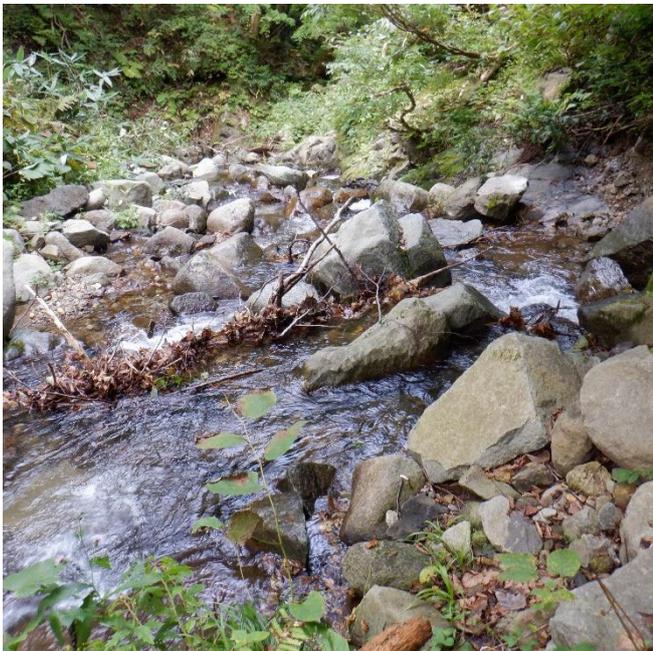


一の滝からいきなり三の滝になった。帰宅後調べたが、地図に二の滝は無かった。



この支流でコンパスを合わせる。

暫く遡行すると、石に空蔵山荘への表示有り。



松倉沢出合いの標柱。
ここからは、沢から離れ
道は傾斜が強くなる。

ダイヤモンドソウ





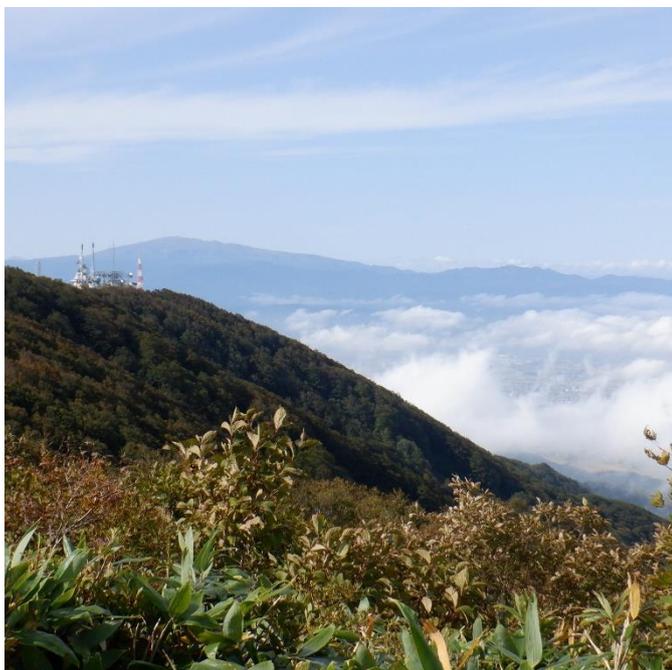
ブナに付けられた七曲坂の標識
雰囲気の良いブナの道



とうに心臓は破られている



明らかに水道と思われる登山道が暫く続いた



アンテナが見える山が三角山
あちらからも杣蔵山への登山道が有る。

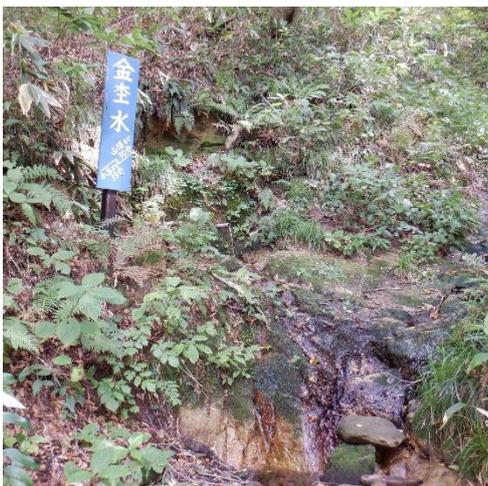


小屋の外のポスター

空蔵山荘内部は薪ストーブ設置され、薪・鍋・卓上コンロ・コンロ用ガスボンベ・食器迄用意されていた。



笹原の中に登山道がわかる。山頂は随分遠く感じる。



途中に水場有り



振り返れば
奥に三角山、手前に杣蔵山荘が見える

もう少しで山頂



一杯森への稜線拡大



山頂への道は東側が切れ落ちていて谷が深く怖かった。



山頂で自撮り写真を撮り往路をゆっくり戻った。
下山中、地元の方2組と練馬ナンバーの車の単独行者と
さんと有った。地元の方に練馬ナンバーの車の方ですか？
と聞かれたので単独の方が練馬の車の方だと解った。